

オンライン

大学教育シンポジウム

オンライン授業の経験と知見を 教育改革に活かすために

新型コロナウイルス感染症への対策として多くの教育機関で取り組まれたオンライン授業の経験は、これからの教育を考える上でのさまざまな可能性や課題を示唆しています。本シンポジウムでは、学修成果の可視化と質保証、カリキュラムや授業改善といった切り口から約半年間のオンライン授業の実践を検証し、さらに高大接続や企業の視点も交えながら、この経験を活かした地域における学びの質の転換や教学マネジメントの改革を展望します。

とき

11月13日(金)
13:30 ~ 16:30

プログラム

【基調講演】

- 「コロナ禍の経験を教学マネジメント改革にどう活かすか」
浅野 茂 (山形大学 企画部 教授)
- 「茨城大学の遠隔授業の知見から教育改革を展望する」
鳶田 敏行 (茨城大学 全学教育機構 准教授)

【指定討論者報告】

- 柴原 宏一 (茨城大学 特命教授)
- 新妻 幹生 (株)リクルート北関東マーケティング)

【パネルディスカッション】

- 「オンライン授業の経験と知見を活かした教育改革
—授業改善から教学マネジメントまで」
モデレーター：久留主 泰朗

(茨城大学 理事・副学長 (総括理事・教育統括))

参加方法

本シンポジウムはオンライン会議システム Zoom を使って行います。参加をご希望の方は、右の QR コードから申込フォームにアクセスし、11/12(木)までに参加登録をお願いします。Zoom のアクセス方法は 11/10 頃及び 11/13 午前中の 2 回にわけてメールでお知らせする予定です。

※茨城大学ホームページ (<https://www.ibaraki.ac.jp/>) のイベント情報サイトからも申込フォームへアクセス可能です。



申込フォーム

主催 国立大学法人茨城大学

共催 一般社団法人国立大学協会

オンライン

大学教育シンポジウム

オンライン授業の経験と知見を教育改革に活かすために

新型コロナウイルス感染症への対策として多くの教育機関で取り組まれたオンライン授業の経験は、これからの教育を考える上でのさまざまな可能性や課題を示唆しています。

本シンポジウムでは、学修成果の可視化と質保証、カリキュラムや授業改善といった切り口から約半年間のオンライン授業の実践を検証し、さらに高大接続や企業の視点も交えながら、この経験を活かした地域における学びの質の転換や教学マネジメントの改革を展望します。

主催者挨拶 久留主 泰朗（茨城大学 理事・副学長（総括理事・教育統括））

基調講演1 13:40～

コロナ禍の経験を教学マネジメント改革にどう活かすか

浅野 茂（山形大学 企画部 教授）

企画評価、Institutional Research (IR) を主に担当しております。本年1月公表の「教学マネジメント指針」を題材に、新型コロナウイルス感染症への大学の対応と教育の質保証上の課題や今後の展望について、参加者の皆様と一緒に考えたいと思います。



基調講演2 14:10～

茨城大学の遠隔授業の知見から教育改革を展望する

畠田 敏行（茨城大学 全学教育機構 准教授）

「教育の質保証」担当者として遠隔授業の実態を把握すべく学生、教職員にさまざまな調査を実施してきました。そこから見えてきた知見から、今後の教育の質を向上させるための手がかりを共有し参加者のみなさんと議論できればと思います。



指定討論者報告 14:30～

● ICT 教育、高大接続の視点から……………柴原 宏一（茨城大学 特命教授）

大学の授業でのデジタルツールの活用事例をもとにその可能性と課題を示すとともに、高校教員・教育行政の経験を踏まえて、高大接続・連携におけるポイントも示します。

● 企業、卒業生の視点から……………新妻 幹生（株）リクルート北関東マーケティング）

現在、経営企画の部署に所属。茨城大学卒業生でもあり、今年度は茨城大学向けの「社会人基礎力セミナー」を提供し、遠隔授業も経験しました。その視点から大学教育と企業で求められるスキルとの関係についてお話しします。

パネルディスカッション 15:05～

オンライン授業の経験と知見を活かした教育改革 —授業改善から教学マネジメントまで

【パネリスト】

浅野 茂（山形大学 企画部 教授）

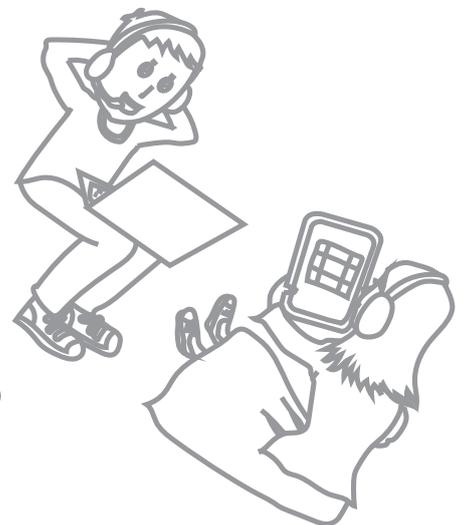
柴原 宏一（茨城大学 特命教授）

畠田 敏行（茨城大学 全学教育機構 准教授）

新妻 幹生（株）リクルート北関東マーケティング）

【モデレーター】

久留主 泰朗（茨城大学 理事・副学長（総括理事・教育統括））



<本シンポジウムについてのお問い合わせ>

茨城大学広報室

TEL：029-228-8008 メール：koho-prg@ml.ibaraki.ac.jp